

## 森林を守る 森林を活かす

### 春の「緑の募金活動」

春の陽射しがまぶしく、穏やかな天候に恵まれた四月二二日(日)、「春期緑の募金強化月間」(三月一日～五月三十一日)の一環として、高知市で「春の街頭募金」活動を実施しました。当日、出発式に野津山局長が祝辞を述べられ(写真上)、引き続きの募金活動には内藤技術普及課長も参加しました。(写真下右側)

「緑の募金」活動は、「森林を守る 森林を活かす」をスローガンに展開しています。

きれいな空気、おいしい水、心身の癒し、地球温暖化防止など、森林は私たちの豊かな生活を支え、多くの恵みを与えてくれます。この活動は、国民運動として一層の進展が期待されています。

このため、広く皆さま方に、森林整備の重要性や木材利用の意義などに理解と関心を深めて頂くことが大切です。そのためにも、更なるご理解、ご協力をお願いします。



## コウヨウザン苗木を植栽 コウヨウザン3世代プロジェクト

コウヨウザン3世代プロジェクトにより、管内の愛媛署(陰平山2004林班 植栽本数200本 写真)、安芸署(須川山1017林班 植栽本数2640本)に、今年の2月、それぞれ植栽しました。



早生樹・コウヨウザン(ヒノキ科)は、成長が早く、ぼう芽力が強い特徴です。

今後、研究機関を含めて成長調査等を実施していきます。

### 編集後記

5月1日から元号が令和に。  
類にあたる風に、温かさを感じるこの頃。  
新緑の季節も 体調の管理をしっかりと。



## 「森林の分布とその限界」って

### 樹木の分布は気温と乾湿で決まる

地球上の植生は、暑さ、寒さの気温と乾燥、湿潤の乾湿条件によって分布状態が異なる。

気温条件で北半球の森林帯を南から北に、熱帯林-亜熱帯林-暖温帯林-冷温帯林-亜寒帯林となり、気温がさらに低くなると雨量は十分でも森林にならず、コケなどが生えているツンドラに。

また、乾湿条件によって砂漠-草原(ステップ)-サバンナ(草原と森林の中間)-森林となる。

### 森林の水平分布とその限界

南から北へと緯度が移ると気温は低下。緯度による森林の変化を水平分布という。降水量の多い日本は、乾燥による森林分布の影響はなく、どこにでも森林が成立。日本では、南から北へ亜熱帯林-暖温帯林(照葉樹林)-冷温帯林(落葉広葉樹林)-亜寒帯林(常緑針葉樹林)が分布。北海道でも高い山に登るとミズナラなどが少なく、針葉樹林帯に。さらに上にはダケカンバ、やがて高木はなくなり、ミヤマハンノキやハイマツなどの低木だけに。この限界線を森林限界といい、それより上は高山帯と呼ばれている。

「もっと知りたい森と木の話」より  
(北海道林業改良普及協会発行)

